

問12 母平均の区間推定の場合などに、信頼度を95%とか99%にする
場合が多いのですが、これには何か理由があるのですか。

また、いろいろな検定の際に、危険率を5%とか1%にする場
合が多いのですが、これにも何か理由があるのですか。

(答え) これらの数値は、統計学の伝統的な基準として使われてきているだけで、そのほかに特別な理由はありません。目的に応じて、信頼度は75%でも90%でもかまいませんし、危険率は15%でも3%でもいっこうにかまいません。しかし、数表は、伝統に従い、信頼度は95%や99%、危険率は5%や1%の境界値（信頼度95%の境界値と危険率5%の境界値は同じ、信頼度99%の境界値と危険率1%の境界値も同じ）を求めて作成してありますので、これらの数値を用いた方が便利です。